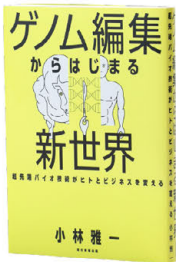


## ゲノム編集を基礎から知る



2020年には「ゲノム編集」の研究者がノーベル化学賞を受賞。2018年11月には中国でゲノム編集ベビーが誕生する事件がありました。本書はそれより前の2018年3月の書ですが、内容は生物学の基礎からわかりやすく技術が説明されていて、最後には人への応用の危惧が述べられています。現在進行形の科学技術を知ることができる1冊です。

未来エンジニアリング

『ゲノム編集からはじまる新世界  
— 超先端バイオ技術がヒトとビジネスを変える—』

小林雅一 (著) 朝日新聞出版 2018



伊藤嘉浩 博士

開拓研究本部  
伊藤ナノ医工学研究室  
主任研究員

公式サイトでは  
科学者のおすすめ本を  
紹介しています!



## 生きたサイエンスを 漫画で学ぶ!



生きていく上で必ず必要なものからあると便利なものまで、実際の生活の中で生まれる科学を楽しく理解できる1冊。最初はこのようなマンガを通して楽しく学びながらサイエンスの世界に足を踏み入れるのはいかがでしょうか。

未来エンジニアリング

『Dr.STONE』

稲垣理一郎 (原作) Boichi (作画)  
集英社 2017



清成 寛 博士

生命機能科学研究センター  
生体モデル開発チーム  
チームリーダー

公式サイトでは  
科学者のおすすめ本を  
紹介しています!



## 大発見にひそむ 科学者70人の「ひらめき」



過去の科学技術イノベーションが起きた背景を丹念に調べ、科学者たちの「ひらめきの技」をリストアップ&図解した、ユニークな本。ピタゴラスから山中伸弥先生まで、分野も時代も幅広い。人生で困ることがあっても、これだけ技があれば突破できるはず!

未来エンジニアリング

『科学史ひらめき図鑑  
— 世界を変えた科学者70人のブレイクスルー—』

株式会社スペースタイム (著) 杉山滋郎 (監修) ナツメ社 2019



園田 翔 博士

革新知能統合研究センター  
汎用基盤技術研究グループ  
深層学習理論チーム  
研究員

公式サイトでは  
科学者のおすすめ本を  
紹介しています!



## 科学最大の謎「心」に迫る

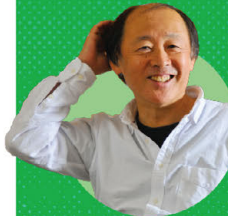


読み始めたら止まりません。クリストファー・ノーランの映画に引き込まれる感覚と似ています。厳選された学術データと緻密な議論から、「人生の成功は“満足を先のぼしにできる能力”と関連している」と導かれるところは圧巻です。さらに「誰でもサヴァン症候群になれるか?」「最新の脳科学でジャンヌダルクの精神分析を解明できるか?」と展開。若いうちに読みたかった1冊です。

未来エンジニアリング

『フューチャー・オブ・マインド—心の未来を科学する—』

ミチオ・カク (著) 斉藤隆央 (訳) NHK 出版 2015



中村振一郎 博士

科技ハブ産連本部  
バトンゾーン研究推進プログラム  
中村特別研究室  
特別招聘研究員

公式サイトでは  
科学者のおすすめ本を  
紹介しています!



## 情報科学の最先端 「暗号」の世界



腕利きのサイエンスライター、サイモン・シンが描く暗号技術の歴史。暗号は一見地味な分野ですが、実は情報科学の最先端で、インターネットの安全も支えています。最後の章は、来たる量子コンピュータ時代の暗号について。自身の研究とも関わりが深く夢中で読みました。

未来エンジニアリング

『暗号解読 (上) (下)』

サイモン・シン (著) 青木薫 (訳) 新潮社 2007



中村泰信 博士

量子コンピュータ研究センター  
センター長

公式サイトでは  
科学者のおすすめ本を  
紹介しています!



## 人間はいかに選択するのか?



人間がついてしまう非合理的な行動を研究してきた行動経済学。この本で著者リチャード・セイラーは「Nudge」(ナッジ)という言葉を生み出し、のちにノーベル経済学賞を受賞しました。私が研究している意思決定の脳科学にも関連する、興味深い分野です。

脳とココロ

『実践 行動経済学 — 健康、富、幸福への聡明な選択』

リチャード・セイラー、キャス・サンズティーン (著)

遠藤真美 (訳) 日経 BP 2009



赤石れい 博士

脳神経科学研究センター  
社会価値意思決定連携ユニット  
ユニットリーダー

公式サイトでは  
科学者のおすすめ本を  
紹介しています!



## エンジニアの視点で 脳を読み解く!?



脳をリバースエンジニアリングするという観点で書かれた本書は、理工系の感性にマッチしていて非常にしっくりきます。脳に興味がある数学・物理が好きな学生には是非読んでほしい1冊です。

脳とココロ

『メカ屋のための脳科学入門

— 脳をリバースエンジニアリングする』

高橋宏知 (著) 日刊工業新聞社 2016



磯村拓哉 博士

脳神経科学研究センター  
脳型知能理論研究ユニット  
ユニットリーダー

公式サイトでは  
科学者のおすすめ本を  
紹介しています!



## 脳と腸の驚くべき関係性!



脳と腸は体内の離れた部位にあり異なる働きを担っていますが、お互い密接に関係しています。本書で「かしこい」とされる腸の役割を知れば、人体の仕組みにますます興味を持つはずです。

脳とココロ

『脳はバカ、腸はかしこい』

藤田絏一郎 (著) 三笠書房 2019



上口裕之 博士

脳神経科学研究センター  
副センター長

公式サイトでは  
科学者のおすすめ本を  
紹介しています!



## 家には20万種の生き物が!?



家の中の生態系に注目した本。草原、ツンドラ、間欠泉（かんげつせん）の熱湯にさえ生き物が息するように、冷蔵庫、玄関、シャワーなど家のあらゆるところに生物が棲みついている。身近な生物多様性を活かすも壊すもあなた次第! 「壮大な世界は全てつながっているんだ」と実感できます。

つながる地球

『家は生態系  
—あなたは20万種の生き物と暮らしている』

ロブ・ダン（著）今西康子（訳）白揚社 2021



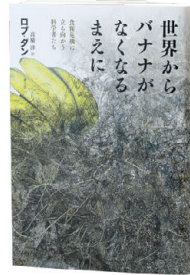
栗原恵美子 博士

環境資源科学研究センター  
合成ゲノミクス研究グループ  
研究員

公式サイトでは  
科学者のおすすめ本を  
紹介しています!



## 食糧危機に備えるために



私は、乾燥・高温などの環境ストレス下でも安定的に生産できる植物の開発を目指して、研究を進めています。この本では、米や小麦などの主要作物が、病原菌・害虫や気候変動によって、なくなってしまう可能性を伝えています。食料危機に備えるために、私たちは何をすべきかを考えさせてくれる良書です。

つながる地球

『世界からバナナがなくなるまえに  
—食糧危機に立ち向かう科学者たち』

ロブ・ダン（著）高橋洋（訳）青土社 2017



関原明 博士

環境資源科学研究センター  
植物ゲノム発現研究チーム  
チームリーダー

公式サイトでは  
科学者のおすすめ本を  
紹介しています!



## 人間はいかに選択するのか?



私たちの研究センターは、持続的な社会の実現を目指し、植物の研究をしています。SDGsは世界のさまざまな問題について自分で考え始める、良い入り口だと思います。この本は17の目標ごとにデータが充実。クイズもあって楽しく学べます!

つながる地球

『未来を変える目標—SDGs アイデアブック』

一般社団法人Think the Earth（編著）蟹江憲史（監修）  
ロビン西（マンガ）紀伊國屋書店 2018



蒔田由布子 博士

環境資源科学研究センター  
合成ゲノミクス研究グループ  
上級研究員

公式サイトでは  
科学者のおすすめ本を  
紹介しています!



## 世界中の若者の希望! 自らの夢も考えさせられる



世界の若者からのメッセージをこんなに多く聞くチャンスはないでしょう。歴史、環境や文化、自由度も異なる次の世代の人々が何を考え、悩み、希望を持って生きていくのか。自分は何ができるか深く考えさせられる1冊です。

つながる地球

『WE HAVE A DREAM—2019年 202人の夢 ×SDGs』

WORLD DREAM PROJECT（編）  
いろは出版 2021



松井南 博士

環境資源科学研究センター  
合成ゲノミクス研究グループ  
グループディレクター

公式サイトでは  
科学者のおすすめ本を  
紹介しています!

